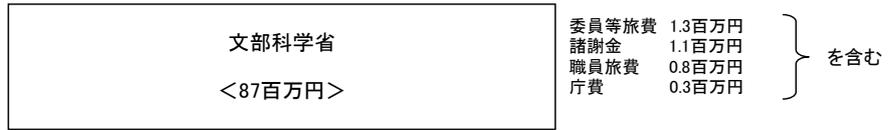


平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進		担当部局庁	生涯学習政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	生涯学習推進課専修学校教育振興室		生涯学習推進課長 藤野 公之		
会計区分	一般会計		施策名	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育基本法第3条		関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	産業構造・社会構造の変化等が進む中で、我が国経済社会の一層の発展を期するためには、経済発展の先導役となる産業分野や、新たな人材需要の高まりが予想される分野等への人材シフトを円滑に進めるとともに、それらの人材が有する専門技術を高めていくことが必要不可欠である。このため、産学間の連携・取組により、専門人材養成を戦略的に推進していく観点から、各成長分野における取組を先導する産学コンソーシアムを組織化し、中核的専門人材養成のための新たな学習システムの基盤を整備する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境・エネルギー、食・農林水産、医療・健康、介護・保育等、クリエイティブ(コンテンツ、デザイン・ファッション等)、観光、ITなどの各成長分野における取組を先導する産学コンソーシアムを組織化し、産業界のニーズを踏まえた人材養成策の策定、各分野における教育の質保証の仕組みづくり、社会人等が学びやすい学習システムの導入促進に関する取組を展開する。 また、外部有識者からなる企画推進委員会を設け、委託テーマの設定、事業計画の審査、事業の進捗状況のフォローアップ及び事業成果の評価等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	87	579	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	87	579	
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (32年度)
	専修学校での社会人受入れ総数		成果実績	人				150,000
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	分野別産学官コンソーシアムの設置件数		活動実績 (当初見込み)	件				- 7
	分野別産学官コンソーシアムによる活動報告書件数		活動実績 (当初見込み)	件				- 7
単位当たりコスト	本事業は、成長分野における取組を先導する産学コンソーシアムを組織化し、中核的専門人材養成のための新たな学習システムの基盤を整備するものであり、単位当たりコストを算出することは困難である。		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1.1百万円	1.1百万円					
	職員旅費	0.8百万円	0.8百万円					
	委員等旅費	1.3百万円	1.3百万円					
	庁費	0.3百万円	0.4百万円					
	生涯学習振興事業委託費	83.9百万円	575.0百万円					
	計	87.4百万円	578.6百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>これまで行われた政府横断的な事業点検による見直し基準等を踏まえた内容となっており、成果目標を達成すべく問題なく執行が進んでいる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、執行面における課題もない。また、事業の成果目標も立てられていることから適切な事業と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

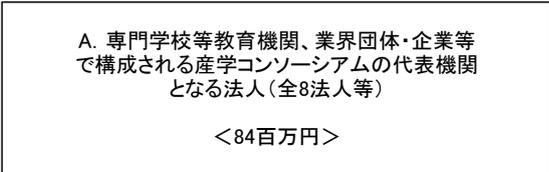
※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



〔 企画推進委員会を設置し、委託先の選定、事業のフォローアップ及び事業成果の評価等を行う。 〕



【公募・委託】



〔 環境・エネルギー、食・農林水産、医療・健康、介護・保育等、クリエイティブ、観光、ITなど各成長分野における取組を先導する産学コンソーシアムを組織化 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	サイト開設費、事務用品リース費	4			
人件費	専門調査員、アルバイト	4			
諸謝金	会議出席謝金、講師謝金、報告書執筆謝金等	3			
旅費	会議出席旅費、講師旅費、実地調査旅費等	2			
その他	会場借料、報告書印刷、消耗品費等	1			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0